(7) 電子くじの実施について(1/2)

□ 基本的事項

- 落札候補者となるべき価格での入札者が複数いた場合には、**電子くじ機能**により、落札候補者を決定します。
- 電子くじを公平に実施するため、以下情報を使用します。
 - (A) 入札書提出日時(応札順序を0からの昇順で定義)
 - (B) 入札者が入札時に指定した「くじ入力番号」

※現行システムでは入札書提出日時の秒数も使用していました。

- 上記情報を使用し、以下方法にて落札候補者を決定します。
 - ①くじ対象業者の(B)くじ入力番号を全て加算し、くじ対象業者数で除算する。
除算した際の余りを「当たり番号」とする。
 - ②(A)入札書提出日時を元に算出した応札順序と「当たり番号」が一致した業者が落札候補者となります。

(7) 電子くじの実施について(2/2)

※落札候補者の決定方法

くじ対象業者のくじ入力番号(B)の合計(=666)を、くじ対象業者数(=3)で割り、その余りと応札順序が等しい業者が、落札候補者となります。

$$666 \div 3 = 222 \text{ 余り } 0$$

⇒ 応札順序が0番の「業者②」が落札候補者となります。

(電子くじの計算例)

業者名称	くじ入力番号(B)	入札書提出日時(A)	応札順序(C)
業者①	111	2014/4/8 10:23	1
業者②	222	2014/4/7 10:29	0
業者③	333	2014/4/9 11:45	2

(D)合計 666